

若手・中堅技術者がおさえておくべき知識・スキルを学ぶ 設計品質向上基礎セミナー

開催日時 2026年10月23日(金) **大阪会場**
2026年11月11日(水) **福岡会場**
各回とも 9:30~17:00

会場受講のおすすめ
会場受講は少人数で開催します。技術者にとって外部交流は貴重な機会です。講師へ質問することもおすすめです。どのようなプロセスで考えるのか、ホワイトボードを使ってその場で解説します。

対象 ・開発、設計、技術、品質保証部門の方
・設計の品質を向上させたい方
・若手・中堅エンジニアの方
・設計の計画をスムーズにさせたい方

講師 渡部 訓久氏
(株)日本能率協会コンサルティング
シニア・コンサルタント

参加料(税込) 法人会員：62,150円/1名
会員外：73,150円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい
製造業における開発設計の現場では、効率化・スピード・コストが最優先で求められてきた結果、不具合の根本原因の追究と対策、技術の深堀りなどにあまり時間がかけられず、似たような問題を繰り返し発生させてしまい、**技術力や生産性が退化してしまっているように感じます。**
この状況を打破するために、改めて「品質」へのこだわりを重要視すべきではないでしょうか？
若手・中堅技術者が今後リーダーシップを発揮するために、まずは設計品質の作り込み方を学ぶことが有益です。
本セミナーでは、知識習得のみならず、覚えたことをどのように成果につなげるか、品質を差別化するにはどうするかについても、一緒に考えていきます。

ポイント

- 現状の設計品質に関わる問題点の共有
- 「節目管理」に着目した品質維持・向上のストーリーづくり
- 職場における、品質向上のための議論のきっかけづくり

こんな課題をお持ちの方に受講をおすすめします

- ✓ 曖昧な仕様による基本・詳細設計のやり直し
- ✓ 評価段階での不具合対応増加
- ✓ 評価項目のヌケ・モレによるフィールド問題増加
- ✓ 設計品質が安定しないことによる次機種へのリソースシフト遅れ
- ✓ 納期遅延による売上機会損失

参加者の声

- 事例を交えて具体的に講義していただいて、よく理解できた。
- 他社も似たような問題点を抱えており、どのように改善できるか一緒に考えることができた。
- 説明が具体的で、特に大事なことをキーワードで伝えていただいたので理解しやすかった。
- 本に載っているような内容ではなく、実事例や現場が見える話をしていただき、ありがたかった。
- 自職場での問題とセミナー内容が直結しており、自らに置き換えて研修を受けることができた。

■ プログラム		9:30~17:00 [昼食] 12:00~13:00
1 設計品質に関する一般的な問題点 設計品質に関する一般的な問題点	3 再発防止に向けた基本手法 (1)設計品質問題の振返り分析方法 (2)なぜなぜ分析手法 実習	
2 設計品質向上の基本的な考え方 (1)設計品質向上の主目的 (2)設計品質向上への5つの原則と基本手法体系 実習 開発設計テーマの振返り分析 実習 問題解析・T型マトリクス分析	4 未然防止に向けた基本手法 (1)FMEA/DRBFM手法	
	5 その他の設計品質手法	
	6 まとめ、Q&A	

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。